

## 九州大学寄附講座・寄附研究部門一覧

平成31年4月1日現在

部局名	種別	講座・研究部門名	設置年月	現在の設置期間			寄附総額(千円)	寄附者	設置目的	教員	備考	
				開始年月日	～	終了年月日						年数
医学研究院	寄附講座	循環器病病態治療講座	平成30年4月	平成30年4月1日	～	平成33年3月31日	3年	100,000	アクテリオン ファーマ シューティカルズ ジャパ ン株式会社	九州大学における循環器病の病態解 明と治療に関する基礎および臨床研究 の推進。	寄附講座教員 (准教授) 井手 友美 寄附講座教員 (講師) 大谷 規彰 寄附講座教員 (助教) 篠原 啓介	
医学研究院	寄附講座	人工関節生体材料学講座	平成23年2月	平成30年2月1日	～	平成33年1月31日	3年	72,000	京セラ株式会社	人工関節に関する学生教育、臨床的評 価および次世代に向けた研究開発を行 う。近年、人工関節への適応例は増 加の一途をたどっており、関節疾患治 療の中心的な役割を占めるに至った。 本講座では人工関節に関する教育、お よび人工関節をバイオメカニクス及 びマテリアルの観点から解析・検証し、 革新的な次世代人工関節を開発する 事を目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 本村 悟朗 寄附講座教員 (助教) 大塚 洋	平成27年2月更新 平成30年2月更新
システム情報科学研究院	寄附講座	味覚センサ講座	平成30年4月	平成30年4月1日	～	平成33年3月31日	3年	51,000	株式会社味香り戦略研究 所 株式会社インテリジェント センサーテクノロジー 総合商研株式会社	本研究部門は、近年発展の著しいCPS (Cyber Physical System)またはIoT (Internet of Things)を背景にナノテクノ ロジー、バイオロジー、センサ技術、感 性科学を融合することで、グローバル 社会に対応できる味覚センサの研究開 発を行うと同時に、その成果を学生およ び社会に普及させるための教育と研究 の充実を図ることを目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 矢田部 壘	
工学研究院	寄附講座	船舶海洋人材育成講座	平成29年12月	平成29年12月1日	～	平成34年11月30日	5年	105,000	株式会社大島造船所	我が国における船舶・海洋教育の将来 への継承化と発展のための人材育成を 目的とした教育研究の進展及び充実に 資することを目的とする。	寄附講座教員 (教授) 木村 元	
医学研究院	寄附講座	放射線医療情報・ネットワーク講 座	平成26年4月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	90,000	富士フイルム株式会社 富士フイルムメディカル株 式会社	横溢する画像情報の統合、融合、処理 方法の開発、画像医療(画像診断、放 射線治療)への活用、さらにはこの情報 をネットワーク医療として活用するた めの新しい研究分野として、本講座を開 設する。	寄附講座教員 (教授) 塩山 善之 寄附講座教員 (助教) 松本 圭司 白川 友子	平成29年4月更新
医学研究院	寄附講座	連携病態修復内科学講座	平成29年4月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	128,150	佐世保市	総合内科学を基礎とする地域包括ケア システムのリーダー育成。	寄附講座教員 (准教授) 草場 仁志	
医学研究院	寄附講座	地域連携小児医療学講座	平成29年4月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	75,000	佐世保市	佐世保地域の小児・周産期医療体制に 関する研究を行うことにより、当該地域 の小児および周産期医療体制の維持 のための方策を得る。	寄附講座教員 (准教授) 古賀 友紀	

部局名	種別	講座・研究部門名	設置年月	現在の設置期間			寄附総額(千円)	寄附者	設置目的	教員	備考	
				開始年月日	～	終了年月日						年数
医学研究院	寄附講座	包括的腎不全治療学講座	平成18年5月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	60,000	バクスター株式会社	包括的な腎不全治療を可能にする体制を構築し、安全で患者満足度の高い多様な腎不全治療の選択肢を提供することで地域医療の向上に貢献することを目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 鳥巢 久美子	平成23年5月更新 平成25年4月更新 平成26年4月更新 平成27年4月更新 平成28年4月更新 平成29年4月更新
薬学研究院	寄附講座	革新的バイオ医薬創成学講座	平成29年4月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	60,000	株式会社アイロムグループ	国民の健康と福祉の向上に貢献するため、日本国民の主要死因である循環器疾患・悪性疾患をターゲットとして、革新的な次世代細胞・遺伝子医薬品候補を開発する。さらにこれらの最先端医療・医薬の患者への提供を速やかに実現するために、基礎研究に留まらず臨床試験を強力に進めるトランスレーショナルリサーチ推進機関としての役割を担い、中期的に先進的なバイオ医薬研究開発センターを目指す。	寄附講座教員 (教授) 米満 吉和 寄附講座教員 (助教) 原田 結	
医学研究院	寄附講座	重症心肺不全講座	平成29年1月	平成29年1月1日	～	平成31年12月31日	3年	125,000	日本メトロニック株式会社 社会医療法人財団 池友会 アボットメディカルジャパン株式会社 ニプロ株式会社	重症心肺不全に対する集学的治療のさらなる発展のため、救急からVADまでをシームレスに治療に関わるセンター化、薬物療法およびペースメーカーやCRT-D等を用いた心不全治療とVADを用いた重症心不全治療の包括化、植込型左心VAD(ILVAD)管理体制の充実、DT時代に備えた準備、小児心不全治療体制の確立を目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 田ノ上 禎久 寄附講座教員 (助教) 橋本 亨	
医学研究院	寄附講座	加齢病態修復学講座	平成28年12月	平成28年12月1日	～	平成32年11月30日	4年	180,000	株式会社FBR(Fujino brain Research)	内科学の発展のため、特に加齢と炎症に伴う恒常性の変化を、血液、腫瘍、神経分野において研究し、正常から異常への変化を分子レベルで明らかにし、その結果を新規医療技術開発に応用する。さらに、病態修復内科学講座の関連分野における大学院教育に貢献することを目的とする。	寄附講座教員 (准教授) Md. Shamim Hossain	
工学研究院	寄附講座	造船中核人材育成講座	平成28年10月	平成28年10月1日	～	平成33年9月30日	5年	105,000	ジャパンマリンユナイテッド株式会社 三井E&S造船株式会社 川崎重工株式会社	九州大学において、我が国における造船教育の将来への継承化と発展のための人材育成および造船教育で重要な実践的教育の実施を目的とした教育研究の進展および充実に資することを目的とする。	寄附講座教員 (教授) 安澤 幸隆	
医学研究院	寄附講座	応用病態修復学講座	平成30年10月	平成30年10月1日	～	平成33年9月30日	3年	120,000	社会医療法人池友会	内科学の発展のため、血液、腫瘍、循環器、免疫学分野を統合的に研究することにより、新規医療開発に貢献する。	寄附講座教員 (講師) 菊繁 吉謙 寄附講座教員 (助教) 野上 順平	

部局名	種別	講座・研究部門名	設置年月	現在の設置期間			寄附総額(千円)	寄附者	設置目的	教員	備考	
				開始年月日	～	終了年月日						年数
医学研究院	寄附講座	眼病態イメージング講座	平成28年7月	平成28年7月1日	～	平成31年6月30日	3年	60,000	株式会社ニデック	眼疾患に関する新規治療の開発とその成果を可視化する技術を研究するため。	寄附講座教員 (准教授) 八幡 信代 寄附講座教員 (講師) 秋山 雅人	
農学研究院	寄附講座	機能性多糖分析学講座	平成28年4月	平成28年4月1日	～	平成33年3月31日	5年	65,700	株式会社ヴェントゥーノ 特定非営利活動法人NPO フコイダン研究所	機能性多糖分析講座は、食品機能性の有効利用を通じて国民の健康向上に資することを目的として、食品に含まれる多糖類の機能性評価ならびにそれら機能性発現の作用機作に関する解析を進めると共に、多糖類の定量解析系を新規に確立することで、学術および産業界の発展への貢献を目指して設置する。	寄附講座教員 (准教授) 宮崎 義之	
医学研究院	寄附講座	脳神経治療学講座	平成30年10月	平成30年10月1日	～	平成32年3月31日	1.5年	6,000	一般社団法人日本血液製剤機構 おそえがわ脳神経内科	難治性脳神経疾患の臨床的・基礎的研究を行なう。これには脱髄性疾患(多発性硬化症や視神経脊髄炎)、重症筋無力症、慢性炎症脱髄性多発根神経炎などの免疫性神経疾患のみならず、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患、認知症性疾患、脳血管障害など幅広い疾患を含む。医学部4～6年生の講義や臨床実習においてこれらの疾患についての病態の解説を行い、この領域の教育に寄与する。	寄附講座教員 (准教授) 磯部 紀子	
農学研究院	寄附講座	機能水・機能性食品・エネルギー講座	平成27年10月	平成27年10月1日	～	平成32年9月30日	5年	87,500	第一産業株式会社 株式会社日田天領水 株式会社野口総合研究所	機能性食品や機能水には種々の疾病改善や予防効果があり、その実証及び分子レベルでの作用機序の解明を目指すことにより医療、農業、工業などの産業だけでなく様々な応用分野における進展を図り、広く社会に貢献することを主な目的として設置する。	寄附講座教員 (准教授) 富川 武記	
法学研究院	寄附講座	現代社会論講座	平成27年4月	平成31年4月1日	～	平成32年3月31日	1年	9,852	株式会社西日本新聞社	学生の知的好奇心を刺激し、現代社会を捉えることによって未来への展望を導き出すことを目指す。	寄附講座教員 (教授) 田端 良成	平成29年4月更新 平成31年4月更新
医学研究院	寄附講座	地域医療学講座	平成26年4月	平成29年4月1日	～	平成32年3月31日	3年	52,500	指宿市	地域の分娩体制が脆弱である指宿市を含めた指宿地区医療圏における地域医療体制のあり方及び整備方針に関する調査・研究を実施し、南薩地域の地域医療体制の整備を図る。また、不足感の高い産科・産婦人科の医師の技術向上に繋がる研修プログラムを開発することにより、産科・産婦人科を志す医師の支援に資する。	寄附講座教員 (准教授) 浅野間 和夫	平成29年4月更新
医学研究院	寄附講座	体表感知学講座	平成25年4月	平成31年4月1日	～	平成33年3月31日	2年	60,000	マルホ株式会社	健康な皮膚を科学し、維持し、体表環境の変化によって異常状態に陥るのを予防するという観点に立って実学的領域の研究を推進することにより、皮膚疾患の予防からアフターケアまでのサイクルに貢献できる医療及び産業基盤の確立を行うことを目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 中原 剛士	平成28年4月更新 平成31年4月更新

部局名	種別	講座・研究部門名	設置年月	現在の設置期間			寄附総額(千円)	寄附者	設置目的	教員	備考	
				開始年月日	～	終了年月日						年数
医学研究院	寄附講座	分子イメージング・診断学講座	平成31年4月	平成31年4月1日	～	平成34年3月31日	3年	105,000	ゲルベ・ジャパン株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン	先進的画像診断機器を活用し、分子レベルの生体機能情報などの情報を取り出し、それらの情報を画像化、又は融合させることなどにより、より精度の高い診断方法の検討を行うとともに、治療方法の選択、予後予測などへ貢献できる新たな知見を得ることを目的とする。	寄附講座教員 (准教授) 樋渡 昭雄 寄附講座教員 (講師) 中山 智博 寄附講座教員 (助教) 久保 雄一郎	
医学研究院	寄附講座	周産期・小児医療学講座	平成22年4月	平成31年4月1日	～	平成34年3月31日	3年	180,000	福岡県	地域の分娩体制が脆弱である田川保健医療圏を含めた筑豊地区における周産期医療体制のあり方および整備方針に関する調査・研究を実施し、筑豊地域の周産期医療体制の整備を図る。また不足感の高い産科・産婦人科および小児科の医師の技術向上に繋がる研修プログラムを開発することにより、産科・産婦人科および小児科を志す医師の支援に資する。	寄附講座教員 (准教授) 落合 正行 寄附講座教員 (助教) 貴島 雅子	平成26年4月更新 平成28年4月更新 平成31年4月更新
薬学研究院	寄附講座	創薬腫瘍科学講座	平成19年5月	平成30年4月1日	～	平成33年3月31日	3年	90,000	社会医療法人雪の聖母会	がんを中心とした治療のための創薬を実学として実践できる人材と創薬腫瘍に関する独自性が高く高水準の研究を発信することを目指す。また、本講座よりがん患者へ有用性の高いがん治療の創出と専門性の高い若手研究者の人材育成の実践が可能である。	寄附講座教員 (准教授) 渡 公佑	平成22年4月更新 平成24年4月更新 平成27年4月更新 平成30年4月更新
歯学研究院	寄附講座	歯科先端医療評価・開発学講座	平成31年4月	平成31年4月1日	～	平成33年3月31日	2年	40,000	株式会社ジーシー	骨補填材の骨芽細胞および破骨細胞の活性評価を含めたりモデリングの基礎的研究の実施。	寄附講座教員 (准教授) 熱田 生	
薬学研究院	寄附講座	先端医療研究開発学講座	平成31年4月	平成31年4月1日	～	平成33年3月31日	2年	30,000	株式会社先端医療開発	日本は独創的な先端技術を基盤にして医薬品・医療機器を実用化する先端医療開発分野での競争力は欧米と比較して劣っており、その分野における教育(人材育成)も立ち後れている。ナノテクノロジー等の日本が世界に先駆けて研究開発してきた先端技術は、日本発の革新的次世代医療の創出の「切り札」と期待されている。平成25年度に政府が決定した「日本再興戦略」「健康・医療戦略」の優先施策と成っている。先端医療研究開発学講座は、日本発の独創的な革新的低侵襲医療の研究開発の研究・教育の進展と充実に貢献することを目的としている。	寄附研究部門教員 (教授) 江頭 健輔	

部局名	種別	講座・研究部門名	設置年月	現在の設置期間			寄附総額(千円)	寄附者	設置目的	教員	備考	
				開始年月日	～	終了年月日						年数
サイバーセキュリティセンター	寄附研究部門	富士通スペシャリスト育成研究部門	平成28年6月	平成30年4月1日	～	平成32年3月31日	2年	20,000	富士通株式会社	グローバルはもとより、日本国内でも増加の一途をたどるサイバー攻撃に対して産業界官公庁、自治体等でも人材育成が急務となっている。このような状況下において、高等教育機関においてサイバーセキュリティに関する基礎教育、専門教育、スペシャリスト育成教育のための教育プログラム、学生の評価方法の研究開発を行い、将来のサイバーセキュリティに関する様々なスペシャリストの育成を可能とする。	寄附研究部門教員 (准教授) 金子 晃介	平成30年4月更新